

JATA

http://www.jata-net.or.jp/ **Communication**

じゃたこみ



2013年
9月1日発行
vol.79

発行 一般社団法人 日本旅行業協会
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3 全日通費が関ビル3階
TEL:03-3592-1271 (代表) TEL:03-3592-1244 (広報)
FAX:03-3592-1268

旅博直前特集

9月13日~15日 「JATA旅博2013」のみどころ



対談

- 進化した「JATA旅博」を世界にアピール、展示会は過去最大規模に
- ユニークベニュー・増上寺でTABIHAKU NIGHT 2013開催
世界の観光関係者が大集合!
- 業界人必聴!
業界日セミナーはビジネスチャンスの宝庫
国際観光フォーラムには世界のトップ・スペシャリストが登壇
- 支援企画「東北復興市」や注目の「ツアー商品販売コーナー」も

素材研究 (海外) マキナックアイランド (国内) 石垣島

訪日旅行を始めるためのヒント
身近になったインバウンドビジネス

ビッグホリデー(株)取締役経営企画室長 加藤伸一氏
(株)平成エンタープライズ代表取締役 田倉貴弥氏



進化した「JATA旅博」を世界にアピール 展示会は過去最大規模に

今年は、イベント構成の一体感を目的に、正式名称を『JATA国際観光フォーラム・旅博』から『JATA旅博』に改称しました。また、英語名も「TABIHAKU」というブランドの浸透をはかるべく、『JATA“TABIHAKU”Travel Showcase』に変更し、全世界に向けてアピールします。今年は過去最大規模となる見込みの「展示会」、世界のトップ・スペシャリストが登壇する「国際観光フォーラム」、国内外のセラー・バイヤーが一堂に会する「国際商談会」、需要喚起に貢献した企業・団体・個人や優れた旅行商品を表彰する「顕彰事業」の4大イベントで構成されています。海外旅行のみならず訪日・国内旅行を含む旅行市場の活性化を目的とし、今年は昨年よりもインバウンド商談会、日本ブース出展エリアを拡充。海外・訪日・国内の旅の全てを結集させた取り組みとしています。



〈海外編〉出展者をいくつかピックアップして紹介します。 出展者情報はJATA旅博の公式ウェブサイトから検索可能!

EUROPE SQUARE

J-19



EUROPE SQUARE 会場イメージ

EUROPEゾーンに、“EUROPE SQUARE”をオープンします!! Team EUROPE 協賛の政府観光局、航空会社、ツアーオペレーター、鉄道会社、ホテル、アウトレットショッピング、損保会社(計37団体・会社)を展示パネルやパンフレットでご紹介します。9月13日(金)業界日には約20の観光局等によるデスティネーションや素材を対象とした業界関係者向けセミナーや19:00頃より当SQUAREにてレセプションも開催します。

是非、9月13日(金)開催のTeam EUROPE業界関係者向けセミナーへの事前お申込をよろしくお願ひ致します。

◇Team EUROPE業界関係者向けセミナー(7ページ参照)

- ・日時: 2013年9月13日(金) 11:00~18:50
- ・場所: JATA旅博展示会場内 EUROPE SQUARE
- ・詳細・申込:

http://www.jata-net.or.jp/membership/topics/2013/130807_europesemi.html

◇Team EUROPEレセプション

- ・日時: 2013年9月13日(金) 19:00頃~
- ・場所: JATA旅博展示会場内 EUROPE SQUARE
- ・詳細・申込:

http://www.jata-net.or.jp/membership/topics/2013/130807_europesemi.html

ブランドUSA Brand USA

L-01

発見しよう。あなたの知らないアメリカを。

ブランドUSAは世界中の人々にアメリカ合衆国を訪れていただき、深く知っていただくことを振興する公式観光機関です。2010年のアメリカ合衆国初の観光促進法の成立とともに誕生し、半官半民の事業体として、観光需要の活性化、しいてはアメリカの観光関連産業の発展を目的としたマーケティング活動を行っています。



韓国観光公社 Korea Tourism Organization

F-40

となりっていいね!韓国

韓国の地方自治体ブースをはじめ、医療観光コーナー、文化遺産コーナーなど韓国の新たな魅力をご紹介します。また韓国館内のメインステージでは料理ショーや公演など魅力たっぷりのステージをお届けします。さらにスタンブラリーや伝統体験など参加型のイベントも盛りだくさんです。



メルコスール観光局(アルゼンチン・ブラジル・パラグアイ・ウルグアイ・ベネズエラ) Mercosur Tourism Promotion Office (Argentina, Brasil, Paraguay, Uruguay, Venezuela)

I-12

南米!今、最も世界で注目されているデスティネーション!

メルコスールの国々(アルゼンチン・ブラジル・パラグアイ・ウルグアイ・ベネズエラ)は、今南米で最も注目されている国々です。今年も現地の観光局スタッフが来日します。また、毎年恒例の各国のダンス等のパフォーマンス等も行う予定です。現地の旬の情報をゲットしに、是非ブースに遊びにいらしてください。



ハワイ州観光局 Hawai'i Tourism Japan

L-05

もうひとつの、ハワイへ

ハワイ州観光局のパビリオンでは、今、売れ筋のハワイ、個性溢れるハワイ6島の紹介をはじめ、本場ハワイから来日するダンサー、ミュージシャンによるフラのステージ、メディアコーディネーターとして活躍の内野亮さんによるトークショー、ミス・ハワイ2013のクリスタル・リーさんのお披露目等様々なイベントを予定。是非「もうひとつのハワイへ」を見つけたら、ハワイ州観光局のパビリオンにお越し下さい。



オーストラリア政府観光局 Tourism Australia

E-01

こんな体験したことある?オーストラリア

オーストラリアの広い大地、洗練された都市を体感していただけます。ブース内ではオーストラリアを感じていただける体験をご用意。どんな体験ができるかお楽しみ。もちろんオーストラリア旅行のご相談も受付ます。



イタリア政府観光局(ENIT)

J-49

Italian State Tourist Board (ENIT)

世界遺産の一番多い国、イタリアへお越しください!

ユネスコ世界遺産最多登録を誇るイタリアに今年また2つ加わり、全部で49か所となりました。自然遺産の「エトナ山」、文化遺産の「メディチ家の館と庭園」。世界遺産巡りだけでなく、様々な魅力あふれるイタリアにぜひいらしてください。



フィリピン観光省 Philippine Department of Tourism

F-36

もっと楽しいフィリピン

フィリピン観光省はメインブース、語学留学ゾーンでのフィリピンデスク、また会議の際のコーヒスポンサーをさせていただきます。現地からの参加者もあり、観光最新情報を提供いたします。



マカオ観光局 Macau Government Tourist Office

F-04

Macau Government Tourist Office

東洋と西洋、新旧が共存する街 マカオ

マカオは、世界遺産の街歩き、美味しいグルメ、世界が注目するエンターテインメント、贅をついた豪華なリゾートホテル、など旅先で求める魅力が揃っています。マカオブースでは、今年も人気のマカオカフェをオープン、ライブ演奏を聴きながらマカオの味をお楽しみいただけます。今年はマカオ・グランプリ60回大会を記念して、F3マシンも登場します。



旅の魅力や楽しさを伝える今年大注目の新企画 「TABIHAKU 特別講演会」を東6ホールにて開催。

豪華ゲストをお招きし、好奇心を持つことや新たなフィールドにチャレンジすることの大切さ、楽しさについてお話いただきます。明日、すぐにもでも旅に行きたくなるような、旅ファン必見のスペシャルな講演会です！

9月14日(土)

「シニア世代が出来る人生への挑戦」

2013年5月23日、80歳と223日の世界最高齢で地球最高峰、エベレスト(8848メートル)登頂に成功。「夢は諦めなければ叶うもの。大切なことは山頂へむけて刻む、一歩ずつ」。エベレスト登頂で得たもの、その挑戦の過程や素晴らしい仲間たち、家族との絆、人生における目的や「夢」を持つことの大切さをお話します。



三浦 雄一郎氏

プロスキーヤー、
クレーク記念国際高等学校校長

略歴

1932年青森市に生まれる。1964年イタリア・キローターランセに日本人として初めて参加、時速172.084キロの当時の世界新記録樹立。1966年富士山直滑降。1970年エベレスト・サウスコル8,000m世界最高地点スキー滑降(ギネス認定)を成し遂げ、その記録映画「THE MAN WHO SKIED DOWN EVEREST」はアカデミー賞を受賞。1985年世界七大陸最高峰のスキー滑降を完全達成。2003年次男(豪太)とともにエベレスト登頂、当時の世界最高年齢登頂記録(70歳7カ月)樹立。2008年、75歳2度目、2013年80歳にて3度目のエベレスト登頂(世界最高年齢登頂記録更新)を果たす。

9月15日(日)

「宇宙から俯瞰する旅」

水惑星「地球」には70億人の私たちと5千万種の生命が住んでいます。宇宙から見ると人の姿は見えませんが、海、陸、山、川、砂漠、さまざまな自然と調和してまるで一つの生き物のようです。地球生命、俯瞰の旅にお誘います。



毛利 衛氏
宇宙飛行士

略歴

1948年、北海道余市町に生まれる。理学博士。85年、日本初の宇宙飛行士に選ばれる。1992年と2000年の2度、スペースシャトル・エンデバー号で宇宙に飛び立ち、地球を回りながら実験や観測の仕事をおこなった。2003年には、潜水艇「しんかい6500」に搭乗して深海の様子を報告。2003年と2007年に南極に行き、皆既日食のハイビジョン中継、南極昭和基地開設50周年の事業で地球環境の大切さを報告した。現在は宇宙飛行士として日本の宇宙活動への助言を行う一方、日本科学未来館館長として科学教育の普及に努める。

「旅博市場」内、注目の『東北復興市』

本年度は、震災以降、復興活動が続く東北の支援企画として、『東北復興市』を「旅博市場」内に展開します。東北の名産・特産品を一堂に集めて販売する「東北限定・お土産販売コーナー」のほか、昨年度に続きJATA社会貢献委員会の企画運営による「JATA東北復興支援チャリティー・オークション」も行ないます。現在、出展者をはじめとした業界企業・団体へ、オークションへの商品寄贈を呼びかけています。

今年もチャリティー・オークション開催 皆さまの参加・協力をお願いします。

観光産業だからできる支援で、東北から日本を元気にしましょう! 昨年の参加企業・団体数は133企業・団体で、200点以上の出品数に対して、総入札数は550件以上、オークションの総額は¥2,569,654となりました。

本年も開催趣旨をご理解の上、多くの皆様のご参加、ご協力をお待ちしております。



JATA
東北復興支援



チャリティー・オークション



旅博市場とは 注目のツアー商品販売

旅博市場
TABIHAKU @ ICHIBA

来場者の満足度向上、旅行市場の活性化と需要喚起をめざし、本年度は東6ホールにおいて、新エリア「旅博市場(たびはくいちば)」を創設します。旅博市場では、世界各国・日本各地の食が楽しめるフードコーナーや、現地でしか入手できない全国各地の地産・特産品、その他トラベルグッズや旅行ツアー商品販売などを集め、賑わい感ある市場(いちば)のイメージで展開します。

なかでも「旅行ツアー商品販売コーナー」は今年の新企画です。旅行会社の訴求力向上を狙いとし、展示会で旅の情報収集をした来場者へ、ツアー商品の検討、予約・購入までの一貫したサービスの提供を可能にします。当イベントが打ち出す今年の特別企画のひとつです。



今年も素敵なステージパフォーマンスが満載!

昨年に引き続き大人気ゆるきゃらの「ひこにゃん」をはじめ、日本のみならず世界中のゆるきゃらが大集合!



〔俳優〕八嶋智人氏

9月15日(日)には、俳優の八嶋智人氏に奈良市のトークショーに出演いただきます。当日をお楽しみに。



昨年のステージの様子

〈国内編〉出展者をいくつかピックアップして紹介します。

株式会社はとバス A-01
HATO BUS CO.,LTD

東京のプロが企画したコースが満載

浅草、東京タワーなどコースをはじめ、話題のスカイツリーにグルメや夜景、人気スポットなど、東京のプロが企画したコースが満載です。

はとバスブースでお待ちしています。



東京スカイツリー® A-09
TOKYO SKYTREE®

TOKYO SKYTREE® 1st Anniversary

2012年5月22日にオープンした東京スカイツリー®は、高さ634mの世界一高いタワーです。高さ350mの「天望デッキ」に立つと大パノラマが目の前に広がります。東京を見下ろす美しい景色を楽しめるレストラン、気軽に立ち寄れるカフェやオフィシャルショップが用意されています。高さ450mの「天望回廊」では、関東一円を見渡す広大なビューが楽しめます。東京の新しい空を彩る東京スカイツリーへお越しください!



びわ湖・近江路観光圏協議会

(彦根市・長浜市・米原市・日野町・愛荘町・豊郷町・多賀町・甲良町) A-32

Biwako Ohmiji Tourism Council

(Hikone City, Nagahama City, Maibara City, Hino Town, Aiso Town, Toyosato Town, Toga Town, Koura Town)

水よし・里よし・人情よし 近江商人のふるさと近江路

母なる湖「琵琶湖」、緑深い山々、息づく伝統・文化、そして、人々の温かさ、三方良しの精神。この地の魅力は語り尽くせないほど多くあります。

一年を通して豊かな表情を見せる魅力の数々を、近江商人たちが残した本当の「おもてなし」の心とともに出会い、感じる旅に出かけてみませんか?

飛騨高山(高山市) A-15
HIDA-TAKAYAMA (Takayama City)

心のふるさと 飛騨高山

日本一広い市である高山市は東京都とほぼ同じ面積(2177km²)を有し、江戸時代の面影を残す古い町並みや豪華絢爛な祭屋台が引き揃えられる高山祭など歴史・伝統文化が息づいています。また、市街地周辺には北アルプス(飛騨山脈)に代表される雄大な自然や、日本有数の温泉湧出量と野趣あふれる露店風呂が自慢の奥飛騨温泉郷などがあり、四季を通じて楽しめる町です。



神奈川県 A-37
KANAGAWA PREFECTURE

かながわの魅力再発見!

神奈川県には、横浜・鎌倉・箱根などの国際的な観光都市や、大山・城ヶ島などの緑と自然が楽しめるエリアはもろろんのこと、日本一の保養地再生を目指す大磯町など、あまり知られていないものの、潜在力を持つ地域も新たな観光都市を目指しています。また、箱根周辺エリアからは、世界文化遺産「富士山」の絶景がご覧いただけます。魅力溢れる神奈川県を再発見してみてください!



一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー A-41
Okinawa Convention & Visitors Bureau

旬の香りに出会う。旬の空気につれる。 沖縄×島巡り 旬香周島おきなわ

「青い海、青い空」がイメージの夏だけがオンシーズンではなく、秋の沖縄も魅力がいっぱいです!

人気の宮古、久米島、八重山を含む離島観光コーナーをはじめ、人気観光スポットである美ら海水族館ともタイアップし沖縄の魅力を感じていただけるブースを展開いたします。



JATA旅博は、海外旅行のみならず訪日・国内旅行を含む旅行市場全体の活性化を目的に開催。本年は昨年と比較し、国内企業の飛躍的な出展小間数となり、開催24回の歴史の中で最大の規模となります。ぜひ、JATA旅博の会場で日本のツーリズムの力強さを体感してください。

福島県 A-42
Fukushima Prefecture

福島のおいしい、たのしい大集合!

大河ドラマ「八重の桜」の主人公「新島八重」のふるさと、福島県。今回、ブースでは、新酒鑑評会金賞受賞数日本一に輝いた本県のおいしい地酒やおすそめもの食べ物、試飲・試食、また、人気のかわいい民芸品、起き上がりこぼしの総付け体験コーナーをご用意。なお、ステージでは大河ドラマをきっかけに結成された、ふくしま八重隊が登場し素晴らしいショーを繰り広げます。旅博初出展となる福島県ブースにぜひ足を運んでください!



ユニークベニュー・増上寺で TABIHAKU NIGHT 2013開催 世界の観光関係者が大集合!

本年の主催者レセプションは観光庁との共催により、9月12日(木)に「TABIHAKU NIGHT 2013」として、増上寺(東京都港区・芝)を会場に開催します。新しき超近代的な首都・東京と古き江戸文化を漂わせるスカイラインを背景にまさに現代の日本を象徴する環境のもとに実施いたします。

実施コンセプトは、増上寺本尊阿弥陀仏へ当イベントの成功と世界平和への祈りをささげつつ、「TABIHAKU YOKOCHO(旅博横丁)」をテーマに展開。江戸時代から続く「横丁文化」を、まさに江戸で降盛をきわめた増上寺において実施します。訪日旅行の促進、MICEのユニークな会場としての紹介やテーマパーティの提案を兼ねたコンテンツで実施する予定です。

エンターテイメント等においても日本の伝統・文化を体感する機会を提供することで、日本的な食事と併せて招待する各国の代表・出展者など、国内外からの参加者に対し、「デスティネーション日本」をアピールします。



増上寺所蔵

旅博のテーマソングが決定!!

JATA旅博では開催24回目を迎える今年、初の公式テーマソングを採用いたしました。音楽という今までにない新しい側面から旅博のイメージを表現することを目的とし、現在選定中のシンガー、GILLE(ジル)さんに楽曲の制作を依頼。このほど「Place To Go」が、旅博の公式テーマソングとして正式に書き下ろされました。

もともと旅好きなGILLEさんがこの機会にあらためて旅について考え、新鮮な気持ちで歌詞を書いたという楽曲は、旅と新しい人生のスタートを重ねた、若い感性と情熱が感じられる楽曲に仕上がっています。旅博期間中の会場や会期前の告知プロモーションなどで紹介され、来年度以降も使用する予定です。



旅博直前特集

9月13日～15日 「JATA旅博2013」のみどころ



- ・進化した「JATA旅博2013」を世界にアピール
旅博展示会は過去最大規模に(海外・国内) 1、3
- ・「TABIHAKU 特別講演会」を東6ホールにて開催 2
- ・「旅博市場」内、注目の「東北復興市」 2
- ・今年も素敵なステージパフォーマンスが満載 2
- ・ユニークベニュー・増上寺でTABIHAKU NIGHT 2013開催 3
- ・旅博のテーマソングが決定! 3
- ・旅博はビジネスチャンスの宝庫
チームヨーロッパはじめ充実のセミナーが目白押し 7、8
- ・業界関係者必聴!国際観光フォーラム 9

対談 訪日旅行を始めるためのヒント

身近になったインバウンドビジネス

新規参入メリットも大きいASEAN市場

ビッグホリデー(株) 取締役経営企画室長 加藤 伸一氏

(株)平成エンタープライズ 代表取締役 田倉 貴弥氏 5

チームヨーロッパ NEWS

クロアチアへの送客キャンペーンを実施 10

情報満載のホームページ 10

<委員会報告>

○「H・ASEANの観光交流を深める会」開催 13

○富士山でツアー登山研修を実施 13

○LET'S TRY! DS秋講座・受講生募集開始!! 13

●支部活動報告 14

●読み物&マーケティング

ハイにちら消費者相談室 苦情事例に学ぶ⑫ 今回のテーマ:台風 11

法務の窓口 第12回 それは他の法律で規制されているかも 12

添乗員のための旅行医学 VOL.68 高齢者が安心して海外旅行をするために 15

●「JATA Tabihaku 2013」, Sep.13-15

Highlights of JATA Tabihaku Travel Showcase 16

Intense Discussion at the International Tourism Forum

Points to Note on September 13 (Friday) 18

Team Europe News 17

Tabihaku Night 2013 (Sponsors' Reception)

Held at Zojoji Temple, where the old and the new meet 17

●素材研究

(国内)石垣島(沖縄県) まちなか散歩を島の新たな魅力に 20

(海外)マキナックアイランド(米国ミシガン州) そこは自動車のないアメリカの街 21

●事務局だより 19

●毎月掲載・DS講座クイズ 今回はマレーシア講座より(5～15ページに問題、19ページに解答を掲載)

今月の表紙 イスタンブール (トルコ)

絵・大槻 綾子(おおつき あやこ)

跡見学園卒業後、誠和染色教室で顔染を学び、以降50年日本・世界各地を巡り、その風景を作品にする。数多くの個展を開催。旅行記や画集を発刊している。



東北ロゴのダウンロードは下記へ

各社の東北復興支援に関わる企画商品を表すロゴとして、各社の旅行商品のパンフレット等に記載していくロゴです。ダウンロードは下記にて。

http://www.jata-net.or.jp/about/release/2012/121120_tokologoinfor.html

発行 一般社団法人 日本旅行業協会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3

全日通霞が関ビル3階

TEL:03-3592-1271(代表) TEL:03-3592-1244(広報)

FAX:03-3592-1268

<http://www.jata-net.or.jp/>

全営業マンの行動予定・実績状況が掌握できます!

旅行業基幹業務支援システム

symphony Atwo

シンフォニー アトウ

JATA旅博2013



ウィ・キャンも
出展します!

出展日: 9月13日(金)
会場: 東京ビッグサイト
D-01ブースにて

基幹システム共有!

- ① 商談先への訪問予定
- ② 見積毎の成約見込み
- ③ 予算・前年対比集計



完全モバイル対応!
営業マネージャーは、
外出先でも、部下の
状況をつかめます!



株式会社 ウィ・キャン

<http://www.we-can.co.jp/>

本社: 東京都港区元赤坂1-1-8 赤坂コミュニティビル6F /03-3423-2161

大阪: 大阪市淀川区西中島5-11-10 第三中島ビル4F /06-6390-3321

身近になったインバウンドビジネス

新規参入メリットも大きいASEAN市場

国内旅行者向けの富士山ツアーに予想を超える外国人旅行者が参加する一方、海外から日本国内の高速バスを自分で予約して訪日旅行を楽しむ外国人旅行者が増えるなど、海外から見たデステイネーションとしての日本は、従来よりも垣根が低くなってきているようです。

訪日旅行事業を本格化させているビッグホリデーの加藤伸一取締役経営企画室長と20年以上にわたって訪日旅行者を対象とするバス事業を行っている平成エンタープライズの田倉貴弥代表取締役は、インバウンドビジネスの可能性について語り合っていました。

国内ツアーの英語版で2割を集客

——インバウンド業務の取り扱いを始めた時期や経緯などについて、お聞かせください。

加藤 2009年にビッグホリデーで訪日旅行部を立ち上げ、イ



ビッグホリデーの加藤伸一取締役経営企画室長



平成エンタープライズの田倉貴弥代表取締役

田倉 25年く

ンバウンドへの取り組みに着手することになったわけですが、2010年にブルーシップトラベルを買収し、昨年ビッグホリデーインターナショナルという社名に変更したのが、インバウンドを本格的に始めるきっかけになりました。ビッグホリデーでは、もともと

と、航空座席やテーマパークのチケットなどのユニット卸しなどを行っており、その国内取引の中で、実際には、外国人旅行者に販売されていたケースもあり、従前から外国人旅行を取り扱っていたとも言えるかと思えます。新たにスタートしたビッグホリデーインターナショナルの方は、すべて国際間取引で、当初からインバウンドという認識で、イスラエルを中心に中東や東欧諸国、インド、中国などを取り扱ってきています。

その後、旅行業登録も取得し、ホテルや食事、ガイドの手配などを依頼され対応するようにもなりました。これまでの取り扱いでは、最大で1日当たり70〜80台というような規模でバスを手配してきています。創業した当初は、アジアからのインバウンドに対応するバス会社が国内には少なく、また、外国人旅行者は受けられないというバス会社が多かったと思います。欧米は、いろいろな会社がやっていますが、アジアについては、ほ

〈対談出席者〉

ビッグホリデー(株)
取締役経営企画室長

加藤 伸一 氏

(株)平成エンタープライズ
代表取締役

田倉 貴弥 氏

会員各社の参加を得て

インバウンドを盛り上げたい

JATA 菊間潤吾会長



現在の国による訪日旅行推進の動きを見ていると、ここ数年来においても、いろいろな垣根を低くし、取り外しているというエネルギーが非常に強まっていると感じる。

旅行業界として、将来的にも確実に伸びていくインバウンドについて、ビジネスチャンスという意味合いも含め、多くのJATA会員各社が訪日旅行事業の取り扱いを検討すべきではないかと思う。

会員各社にはそれぞれ得意なフィールドがあり、そうした分野で訪日旅行に積極的に取り組んでもらい、それが結集すれば、非常に大きな力となるはずだ。JATAとしてツアーオペレーター品質認証制度をスタートさせ、海外に向けて発信していくベースもできており、この制度も活用しながら、本当に質の高い日本の旅行をアピールして欲しい。

セミナーなどを通じて訪日旅行の取り組み促進を図り、日本のインバウンド全体を盛り上げていきたいと考えている。

LET'S TRY!!

デステイネーション・スペシャリスト(DS)22講座の過去の問題を掲載します。今月号はマレーシア講座からです。解答は19ページに掲載。

ほとんど民族系の会社が対応しているという状況でした。

——最近のインバウンド市場における動きとして、目立った動きや変化はありますか。

田倉 ASEAN市場が急速に拡大してきており、団体の総数としては伸びている状況です。特に、タイの場合、7月から現地の会社から直接手配を受けるケースも出てきており、20年くらい前の台湾と同じような展開になってきているとの印象を持っています。韓国については、領土問題もあります。数年前からFIT化が著しく進んでおり、東日本大震災の後、原発事故によって団体はほとんどなくなりました。4年ほど前に、韓国人スタッフを採用して、現地の会社風な作りで韓国語のホームページを開設したのですが、高速バスの売り上げが月間で400〜500万円程度になりました。乗車する際の様子は、必ずしも日本語が話せるわけでもなく、日本に慣れているという風でもないのですが、インターネットで高速バスを自分で予約して来てしまうという状況を見てみると、日本が非常に近くて垣根の低い旅行先になってきているんだということを実感します。

加藤 垣根が低くなっているという意味では、国内向けに展開してきた富士山ツアーを、今年初めて、外国人旅行者向けに販売してみたところ、7月と8月の2カ月間で集客した約4500人のうち、20%くらいが外国人旅行者でした。富士山が世界文化遺産に登録されることを見込んで、日本語のパンフレットを英語版にして、都内のホテル等に配布し、予約センターも英語で対応できるようにしました。5合目で遊ぶツアーではなく、実際に登頂するコースですが、中国や韓国、東南アジアからの旅行者はほんの僅かで、ドイツやフランス、スペイン、スロバキア、アメリカ、カナダなど、欧米からの旅行者が大半を占めました。日本人との混載ツアーでしたが、外国人のお客様もさほど苦にされなかったようです。ビッグホリデーは、もともと、スキーにも強いという特性がありますので、今年のシーズンからは、スキーツアーでも同様の試みを進めたいと考えています。

選択と集中による アプローチが重要

——これから訪日旅行を始めようという旅行会社に何かアドバイス

はありますか。

田倉 市場が急成長している東南アジア方面の場合、伸び率では、タイとインドネシア、さらに、ベトナムとフィリピンが続く感じですが、例えば支払い面については、日本側のほとんどの旅行会社は100%の支払いを受けていると思います。事前に入金していただくケースもありますし、日本に到着した後で清算していただくケースもあります。これからインバウンド事業に参入する場合には、政治問題で需要動向が左右されるリスクが極めて低く、未収金の問題もほとんど存在しない東南アジア市場を対象にすれば、伸びしろが大きいという部分も含めて、非常にやりやすいのではないかと思います。

加藤 ビッグホリデーインターナショナルでは、イスラエルや中東、東欧地域、インドなど、取り扱っている旅行会社が少ない市場に特化して、取り組みを進めています。ロンドンなど海外の都市で開かれるトラベルマーケットに参加して、現地のいろいろな会社とのコネクションを作り、それをベースに積極的に営業を行っています。

田倉 インバウンド展開というよりも、いきなり全世界の全方面という

うことでは、言語対応も大変です。から、選択と集中によるアプローチが重要だと思います。フランスやスペイン、南米なども、現地の言葉での対応が必要になってくるようです。ASEANについてもプロモーション例えば、国としてもプロモーション施策を強化しているので、日本への注目度も高く、その中からピンポイントで市場を絞り込んでいくというのも一つの方向性ではないでしょうか。

料金競争やめて付加価値提供へ

——今後の展開については、どのような施策や方向性を考えていらっしゃるのでしょうか。

加藤 ビッグホリデーとして、国内ツアーでの混載ベースによるFITインバウンドの取り組みを強化する一方で、ビッグホリデーインターナショナルとしては、中国市場向けに特殊な需要層を掘り起こすような展開も進めていきたいと考えています。例えば、中国のコスプレ雑誌と提携して、訪日コスプレツアーを企画するようなことも検討してみたい。アニメは世界に誇る日本文化であり、コスプレも、その延長線上に位置するものです。また、亀田総合クリ

ニック等の高度先進医療施設へのPET検査や医療ツアーも積極的に販売したい。そうした日本への関心度が高い特化した需要層の場合、政治問題などの影響も受けにくいという特性もあります。

田倉 大阪城で忍者が登場するというようなインバウンド向けの工夫をしている旅行会社もあります。例えば、ハラル対応のレストランを持つとか、着物を着て写真を撮影できる場所を確保するとか、ハードの面も含めて、付加価値を高める工夫を、旅行会社はする必要がありますように思います。これまで、同じようなバスに乗って、同じようなホテルに泊まり、同じような食事をして、同じ免税店に行つてという状況の中で、料金競争が繰り返されてきました。付加価値を提供することで需要を取り込んでいくという環境にしていかなければなりません。平成エンタープライズとしては、高速バスだけでなく、貸切り観光バスにもWiFi機能を搭載するなどの工夫もしています。また、7月末からスタートした「新高速乗合バス」についても、外国人旅行者に大いに活用していただけるようプロモーションを進めていきたいと考えています。



①首都クアラルンプール(KUL)へは、日本から直行便で約7時間である。これ正しい? 間違い?

9月13日(金)

旅博はビジネスチャンスの宝庫 業界人必見のセミナーが目白押し

9月13日(金)に実施される業界向けセミナーは旅行業界関係者を対象に、日頃の業務にすぐ役立つ最新情報を多彩な講師陣の解説のもと発信します。

今年は恒例のITセミナーや苦情対応セミナーをはじめ、世界文化遺産に登録された富士山観光の可能性や問題点を考えるセミナー、チームヨーロッパの18の特別セミナーをはじめ、未知の国トルクメニスタンなどのデスクティネーションを紹介するセミナーが目白押し。営業・企画・カウンター・総務など、それぞれの職域の現場で役立つテーマで実施いたします。

展示会場での情報収集とあわせ、旅行業界の第一線で働くビジネスパーソン必見のセミナーへぜひご参加ください。

【開催概要】

- 日時:9月13日(金)11:00～18:00
- 会場:旅博展示会場(東京ビッグサイト東1・2・3・6ホール)
- 参加対象者:旅行業界関係者
- 入場料:無料
- ※下記、旅博公式ウェブサイト業界向けページにて事前登録可能定員となり次第締め切り)
- <https://www.b.tabihaku.jp/form/prior/>

Team EUROPEが18の特別セミナーを開催!! ツアー商品造成・販売に役立つヒントが満載!! レセプションにもぜひご参加ください。

ヨーロッパのツーリズム促進にかかわるTeam EUROPEメンバーの18の観光局、鉄道、ホテル、航空会社などによる特別セミナーが9月13日(金)に開催されます。ヨーロッパ各国のイチ押しオススメ情報に特化したセミナーを18種類展開するというバラエティ豊かで中身の濃いセミナーです。会場はJATA旅博展示会場・ヨーロッパゾーン内の"EUROPE SQUARE"にて。

企画担当者はもちろん、これからヨーロッパツアーの販売を考えている皆様はぜひ、この機会にご参加ください。詳しい情報、お申込は、下記URLをご覧ください!!

http://www.jata-net.or.jp/membership/topics/2013/130807_europesemi.html

Team EUROPE 特別セミナースケジュール

	セミナーのテーマ	観光局・団体名・会社名
〈エリア1〉 11:30～12:20	心のエコの旅	ベルギー観光局ワロン・ブリュッセル
	女子力UP! デンマークで可愛いもの探し街歩き	スカンジナビア政府観光局
	ムンクの街“オスロ”と大自然フィヨルド	スカンジナビア政府観光局
〈エリア2〉 12:40～14:20	五感を満たすハンガリーの旅	ハンガリー政府観光局
	チェコの魅力	チェコ政府観光局
	I FEEL SLOVENIA&ハートフル・クロアチア	スロヴェニア政府観光局
	知られざるスロヴェニア・クロアチアあつちの奇跡	クロアチア政府観光局
〈エリア3〉 14:40～15:20	シチリア島南東部エリアの魅力!	アリタリア・イタリア航空
	ブルガリアの歴史・伝統・新たな観光ルートを楽しんでください	ブルガリア経済観光省
	南トルコ・アンタルヤの魅力～地中海・文明・大自然～	トルコ共和国大使館
〈特別グループ〉 15:40～16:40	ヨーロッパ鉄道の魅力	レイルヨーロッパジャパン(株)
	ヨーロッパでのアコホテルズ、ホテル展開、ブランドについて	アコジャパン
	初めて学ぶシック・アウトレット・ショッピングの魅力と活用方法	シック・アウトレット・ショッピング
〈エリア4〉 17:00～18:20	2014年日本・スイス国交樹立150周年	スイス政府観光局
	スイスにおけるツアーデスクの活用	クオニイグループトラベルエキスパートGTA
	2014年LX運航スケジュールについて	スイス・インターナショナルエアライズ
	「ロンドンプラス」～ロンドン&ロンドン以外のおすすめの英国デスクティネーション	英国政府観光庁
	見逃せないフランス!	フランス観光開発機構
18:40～20:00	スペインのワイン&オリーブオイル	スペイン政府観光局
	“Team EUROPEレセプション”では37の観光局や航空会社等が皆様をご招待します!! ぜひご参加を!!	



聞いて価値ある充実のセミナー

※ここに掲載したものの以外にも各種、多彩なセミナーが開催されます。セミナーの詳細、お申し込みは旅博公式ウェブサイト業界向けページから <https://www.b.tabihaku.jp/form/prior/>

旅館および国内旅行担当者必見!

日本旅館と旅行業のあり方 ～新しい時代のwin-winの関係を目指して～

16:30～18:00 セミナールーム J

講師:東日本旅客鉄道(株) 営業部次長 高橋敦司氏

各旅館の考え方が変わってきている中、付加価値をつけて売るのが旅行会社の役割であり、旅行業界も時代の変化に対応しなければ旅館との協業はない!

企画・販売担当者必見!

未知の国 トルクメニスタン

16:00～18:00 セミナールーム B

カスピ海の東に位置する同国はほとんど観光情報のない未知の国でした。今年初めてJATA旅博のブース出展を実現し、このタイミングに合わせて来日した観光大臣及び関係者から現地観光事情について、ビデオも利用して紹介します。Q&Aは同国産のワインを囲んでの気軽なご歓談の中で。

企画・販売担当者必見!

「太平洋 魅惑の島々」企画ポイントセミナー

14:00～15:30 セミナールーム G

講師:太平洋諸島センター所長 小川和美氏、他観光局

太平洋の島々の楽しみ方を、旅行者歴3年、居住歴13年の太平洋諸島センター小川所長にお話いただくとともに、パラオ、タック諸島、フィジーなどの旅行企画に役立つ最新情報を、最前線で活躍するプロフェッショナルたちにご紹介いただきます。後半ではタヒチ・ニューカレドニアの最新情報もお届けします。

旅行会社社員・添乗員必見!

ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2013 表彰式&添乗シンポジウム

15:30～18:00 メインステージ EAST

講師:平田進也氏、芦原伸氏、藤岡比左志氏

「ナニワのカリスマ添乗員」(株)日本旅行 平田進也氏が添乗員の本音を語る!

旅行会社社員必見!

苦情対応セミナー IN 旅博2013

12:30～14:30 セミナールーム J

講師:弁護士 三浦雅生氏

会員各社より寄せられた『お客様からの声を活かす苦情の報告2013』の苦情事例や判例をもとに、JATA顧問弁護士 三浦雅生先生より、法的見地から苦情解決の考え方・方法をわかりやすく説明していただくセミナーです。

私の、incredible India!

海を泳ぐ象、ラジャンとの出会い!

11:00～13:30 セミナールーム A

講師:高野弘氏(水中・水辺のフォトジャーナリスト)

企画 販売

海中を泳ぐインド象、ラジャンとの出会いなど、私の感動体験をお届けします。

オーストラリア キーンズランドセミナー

16:30～17:30 セミナールーム G

講師:オーストラリア政府観光局、キーンズランド観光局

企画 販売

2013年は、2WAYでの観光促進を目指した「日豪観光交流年」。キーンズランド州にスポットをあて旅行企画に役立つ最新情報をお届けします。

一生の思い出に残る“微笑みの国”タイのMICE

11:30～13:30 セミナールーム G

講師:タイ国コンベンション&エキシビジョン・ビュー M部門日本地区担当マネージャー ローシンノ・ボラヌス氏、エーベックスインターナショナル(株) マーケティングマネージャー石川香氏
旅行会社 オペレーター

“微笑みの国”タイ。魅力あふれる数々のベニューの紹介に加え、今年は現地の手配を実際に行うランドオペレーターから生の声をお届けします。

“海のシルクロード”の旅をつくる ーデスティネーションとしての海のシルクロードー

16:00～18:00 セミナールーム D

講師:横尾堅示氏(元NHK特集「海のシルクロード」取材班)、スリランカ航空 旅客営業 大場宏氏
企画

「旅をつくる」と題し、“海のシルクロード”の魅力、さまざまな視点からご紹介。新しい旅をお探しの皆様、ぜひご参加ください。

ONE BSRセミナー

14:00～15:30 セミナールーム A

講師:Foresight Marketing 能登重好氏ほか
企画 販売

バルト沿岸3都市の共同プロモーションの展開や、テーマである「暮らすように旅する」商品をご紹介します。

ロングステイのための「ロングステイ“カ”」 ～日常目線が海外ロングステイへの視線につながる～

16:30～18:00 セミナールーム H

コーディネーター:ロングステイ財団 山田美鈴氏
ゲスト:藤コピス バク ソラ氏、ロングステイアドバイザー 林日南子氏
旅行会社 オペレーター

2部制で1部は「人気ロングステイ先」となったアジア各国を取り上げ、それぞれの国の特徴や長期滞在者向けの査証情報、意識調査の結果、また講師本人の経験にもとづき話を中心に行います。2部は韓国釜山の当財団海外サロンのスタッフによる短期滞在のメッカから長期滞在者誘致の現状報告、マレーシアで長期滞在査証を取得し滞在した経験者も加えた対談を実施します。

インバウンド・地域振興担当者必見!

四位一体(地域+空港+航空会社+旅行会社)の地域ツーリズム

16:30～18:00 メインステージ WEST

講師:コーディネーター:JTB総合研究所 常務 高松正人氏

パネリスト:横田恵三郎氏、大西希氏、安部雅之氏、牛場春夫氏

相次ぐLCCの参入、民活空港運営法の成立と、わが国の空港、航空ビジネスをめぐる状況は急速な変化を始めています。インバウンド誘致など今後の市場を見据えた地域ぐるみのチャレンジも徐々に動き出しました。こうした中で旅行会社が担うべき役割とは果たしてどのようなものになっていくのでしょうか。地域、空港、航空会社、及び旅行会社という4者はどのように協働しうるのか、討論を通じて探ります。

企画・販売担当者必見!

キューバ観光セミナーとカクテルレセプション

16:00～18:00 セミナールーム A

講師:キューバ大使館(予定)、CUBANACAN TRAVEL AGENCY

素晴らしい人々、驚くべき都市、自然と文化のコントラストなど豊かな魅力が多面的に混ざり合うキューバ。人種や知識、スタイルやリズム、匂いや味が複雑に混じり合うキューバの魔法が、毎日訪れる観光客を魅了しています。その魅力を余すことなくお伝えします。

また、セミナー終了後、懇親のためにキューバのカクテル「モヒート」を提供いたします。

国内旅行・インバウンド担当者必見!

富士山の現状と課題について一合力の取り組み

15:10～16:10 セミナールーム J

講師:(株)合力 代表取締役 近藤光一氏

世界文化遺産登録となり、日本の山から世界の山になった富士山。登山者はもちろん、さまざまな来訪者が訪れています。富士山の自然環境の変化や魅力、登録前後に起きている事例や課題についての報告、エコツアー事業所の合力が実践している取り組みの紹介。さらに今後、取り組むべき対策などについて、現地エコツアーガイドの視点を通じてお伝えするとともに、そこから観るこれからの富士山観光の可能性と問題点について考える機会とします。

販売担当者・法務担当者・添乗員必見!

明日からできるユニバーサルツーリズム

16:30～18:00 セミナールーム K

講師:JATAバリアフリー旅行部会長 田中穂積氏

専門知識やノウハウがないと難しいと思われるお身体が不自由な方への対応について、JATAが作成中のチェックシートを使ってその実践方法をご紹介します。

また、実際のお客様例を紹介しながら、お客様対応時の留意点、旅行会社の責任などについても解説いたします。ユニバーサルツーリズムに関心のある方、ぜひご参加ください。





JATAはUNWTOの
アフィリエイトメンバーです。



業界関係者必聴! 国際観光フォーラム

9月13日(金)は世界のトップ・スペシャリストが登壇

日本とアジアの最新市場データをもとに各国の特徴やSWOTを分析、今後のアジア旅行市場の拡大と健全な成長について熱く議論します。

「アジア旅行市場分析」

9月13日(金) 13:00～17:00 東6ホール・フォーラムステージ

<総合司会・モデレーター>

黒須宏志氏 公益財団法人日本交通公社主席研究員



日・英 Session 1 『急成長するアジア旅行市場と日本の旅行産業』



<登壇ゲスト>

タレブ・リファイ氏
国連世界観光機関 (UNWTO)
事務局長



<登壇ゲスト>

デビッド・スコシル氏
世界旅行ソウルズ協議会 (WTTIC)
CEO



<モデレーター>

本保芳明氏
首都大学東京
都市環境学部教授
初代観光庁長官



<主催者代表>

田川博己
JATA副会長
株式会社ジェイティービー
代表取締役社長

日・韓・台旅行市場に焦点

韓国と台湾で活躍する業界エキスパートを招聘して行われるパネルディスカッションでは、『成長から成熟へ 日本人海外旅行マーケットの真価を問う～日韓台3マーケット徹底比較から明日を切り開く～』をテーマに、両国の海外旅行市場そして日本市場との比較を通じ、日本市場と業界の特徴・強みを浮き彫りにしていきます。

日・英 Session 2

『成長から成熟へ 日本人海外旅行マーケットの真価を問う
～日韓台3マーケット徹底比較から明日を切り開く～』



<パネリスト>

ジョン・コルドフスキー氏
太平洋アジア観光協会 (PATA) CEO



<パネリスト>

梁武承氏
韓国旅行業協会
会長



<パネリスト>

王文傑氏
台湾LION GROUP
董事長

9月14日(土)は、多彩にシンポジウムを開催

JATAが創設したツアーオペレーター品質認証制度を議論する特別シンポジウムを開催。さらに5つのシンポジウムも開催し、業界における問題点・課題点を考察します。

日 9月14日(土) 10:30～12:00 東6ホール・フォーラムステージ 「日本のブランド力を強化して観光立国を実現する～ツアーオペレーター品質認証制度への挑戦～」



<パネリスト>
篠原康弘氏
国土交通省観光庁
審議官



<パネリスト>
井口智裕氏
一般社団法人
雪国観光圏代表理事



<パネリスト>
小林宏之氏
公益財団法人
中部圏社会経済研究所
代表理事



<パネリスト>
丸尾和明
JATA理事
JATA訪日旅行推進委員会委員長
株式会社日本旅行代表取締役社長



<モデレーター>
佐藤博康氏
松本大学 総合経営学部
観光ホスピタリティ学科 教授

お申込みのご案内

■2日間通しの参加登録料

国際観光フォーラムの全てのプログラムの参加料と、旅博(展示会)入場料(会期中再入場可)が含まれております。

会員種別	参加登録料
JATA会員	1名様10,000円(税込)
JATA非会員	1名様12,000円(税込)

■いずれか1日のみの参加登録料

各日開催される国際観光フォーラムの参加料と、旅博(展示会)入場料(対象日の再入場可)が含まれております。

会員種別	参加登録料
JATA会員	1名様5,000円(税込)
JATA非会員	1名様6,000円(税込)

■Market Up-date Seminarのみの参加登録料

9月13日(金)に開催するMarket Up-date Seminarの参加料と、旅博(展示会)入場料(9月13日(金)のみ再入場可)が含まれております。

会員種別	参加登録料
JATA会員	1名様3,000円(税込)
JATA非会員	1名様3,000円(税込)

お問い合わせ先 国際観光フォーラム事務局
TEL: 03-5510-2006 FAX: 03-5510-2012
E-mail: forum@jata-net.or.jp

●詳細情報・参加申込はJATA旅博公式ウェブサイトより
(http://www.tabihaku.jp/forum.php)

9月14日(土) 東6ホール・特設セミナールーム 各種シンポジウム 12:00～17:30

12:00～13:30 特設セミナールームK

日 MICE マーケティング

<モデレーター>

石原義郎氏
株式会社航空新聞社 取締役編集長



<パネリスト>

香川晴美氏 廣江真氏
近畿日本ツーリス株式会社 日本コンベンションサービス株式会社
ECC事業本部カンパニー 第7営業支店 支店長 MICE都市研究所 執行役員 所長

赤岡謙氏
横浜市文化観光局
観光コンベンション振興部長

14:00～15:30 特設セミナールームJ

日・英 メディアと ツーリズムプロモーション

<モデレーター>

府川尚弘氏
株式会社マイルポスト マーケティング部長



<パネリスト>

富岡秀樹氏 端山竜二氏
日本政府観光局 (JNTO) 旅サタ制作 株式会社エービーシー
海外マーケティング部次長 リアラ 統括マネージャー

パレンチノ・カバンサグ氏 ネルソン・アルカンテラ氏
フィリピン政府観光省 eTurboNews 編集長
東京支局 東日本代表

14:00～15:30 特設セミナールームK

日 旅行会社が主催するツアーの 安全安心をどう確保するのか

<モデレーター>

菅野貴氏
近畿日本ツーリスト株式会社 海外旅行部 部長



<パネリスト>

柴崎聡氏 川畑宏氏
株式会社グローバルユースビュロー 株式会社ユーラシア旅行社
営業部 取締役部長 取締役 企画旅行事業本部長

16:00～17:30 特設セミナールームJ

日・英 災害・テロなどによる観光 訪問客落ち込みからの回復

<モデレーター>

高松正人氏
株式会社JTB総合研究所 常務取締役



<パネリスト>

デービッド・リヨン氏 リック・ウォーゲル氏
香港政府観光局 太平洋アジア観光協会 (PATA) 英インクルード
日本局長 PATA日本支部理事、代表取締役社長

谷合一浩氏
株式会社 エイチ・アイ・エス
いい旅研究室 室長

16:00～17:30 特設セミナールームK

日 広域ディステーションの プロモーションを考える

<モデレーター>

能登重好氏
フィンランド政府観光局 日本代表



<パネリスト>

早瀬陽一氏 エドワード・トリコフヴィッチ・片山氏
ブランドUSA日本事務所 日本代表、 クロアチア政府観光局 日本代表
アジア地区担当ストラテジーディレクター

村田有氏
国土交通省 中部運輸局
企画観光 部長



④ 次のうち、マレーシアの構成民族ではない民族。

- a オランアスリ b 中国系 c インド系 d イヌイット

クロアチアへの送客キャンペーンを実施 往復航空券+ホテル宿泊券などプレゼント

クロアチア政府観光局とオーストリア航空は、2013年下期に向けて旅行業界を対象とするキャンペーンを実施します。

クロアチア共和国は7月1日、正式に欧州連合(EU)に加盟したのに加え、今年も日本とクロアチアの国交樹立20周年でもあり、ますます人気 destinations ションとして注目を集めています。

今回、日本旅行業協会(JATA)とチームヨーロッパ(JATAヨーロッパ観光促進協議会)の協力によって実施されるキャンペーンでは、オーストリア航空を利用した日本からクロアチアへの送客目標を設定してクリアすると、達成状況によりクロアチアへの往復航空券+ホテル宿泊券など各賞がプレゼントされます。

ヨーロッパの魅力的なシーズンのひとつである秋から早春に向けて、クロアチアへの送客強化を図るキャンペーンに、ぜひ、参加してください。

また、クロアチア政府観光局では、7月1日からホームページ(www.croatia.jp)で、一般消費者向けのイベントキャンペーンとクチコミキャンペーンも実施しています。

クロアチア政府観光局×オーストリア航空による業界向けキャンペーン

○エントリー期間…2013年9月1日～12月31日

○対象期間…2013年10月1日～2014年3月31日

○参加要領…

1. 参加希望者(社)は、予めクロアチア政府観光局のホームページ上から「エントリーシート」をダウンロードして、FAXで参加登録

2. 2013年下期(10月～4月)におけるクロアチアへの日本人送客数(前年同期を上回る)目標を設定

※目標設定に際して、送客数・伸び率・ツアー設定本数・オーガナイザー(インセンティブ)ツアーの成果など、参加者(社)の想定で前年同期を上回る数値を設定。また、2012年下期におけるオーストリア航空の成田/ウィーン往復便を利用したクロアチアへの送客実績も記載

3. 認定に際しての最低条件は、旅行の目的を問わず、日本からクロアチアへのオーストリア航空による成田/ウィーン往復便を利用した実績(送客数・送客数伸び率・ツアーの設定本数・その他目標

値)がプラスであることとなります(実績は自己申告ですが、客観的に判断できる実績を提出していただきます)

4. 送客数カウント部門と送客数伸び率部門で優秀な実績を残した参加者(社)には、最優秀賞(各部門1人)としてクロアチアへの往復航空券+ホテル宿泊券、準優秀賞(2人)としてユネスコ無

形文化財のクロアチア民俗玩具、努力賞として時計付きペンダントを各カテゴリー3個(合計6個)。参加賞(全員)としてクロアチア製チョコレートが贈られます

※キャンペーンの詳細は、クロアチア政府観光局ホームページ(www.croatia.jp)を参照ください



情報満載のホームページ 市場動向などタイムリーに

チームヨーロッパ(JATAヨーロッパ観光促進協議会)は、情報サイトでブランドナーズヒントなどのさまざまな情報

を掲載しています。

情報サイトでは、オフシーズン対策や新規 destinations の企画ヒントなどヨーロッパの各種企画情報を順次掲載しているほか、パンフレットやホームページで使えるビクチャー・ライブラリーも用意されています。

また、旅行ポータルサイト「トラベルコちゃん」の都市検索件数によるヨーロッパ人気都市ランキングや主要カウンター店舗の顧客動向レポートなどを毎月掲載するのに加えて、政府観光局主催セミナーや現地視察研修レポートなども、ブランドナーの視点から随時掲載しています。

情報サイトのURL (<http://www.jata-net.or.jp/team-europe/index.html>)で直接ページを開くことも、JATAサイトからアクセスすることもできますので、皆様、ぜひ、ご活用ください。



⑤大航海時代のマラッカにルーツを持つ、マレー人と中国人の婚姻により生まれた子孫とその文化。正しいのはどれ? a ブラナカン b サンダカン c タム d マスリ

苦情事例に学ぶ⑫

今回のテーマ…台風

例年この時期の風

物詩といえる今件のような問題で、皆様が悩まされることは比較的多くあるのではないのでしょうか。

今回は、家族で沖

縄のツアーに参加されたものの、現地で台風が接近し、帰路予定便が欠航となったご主人より、『帰るための手段について右往左往させられたあげく、予定ではない空港着の便を確保したが、その航空券代や自宅まで列車を乗り継いだ代金で出費がかさんだ。その補償を旅行会社に求めたが一部しか返金がなく納得いかない!』という申し出に関して、どこまで旅行会社が責任を負うべきか検証してみたいと思います。

申し出内容はこうです

沖縄ツアーに家族4名で参加し楽しく過ごしていたが、帰宅前日に大陸に向かうはずの台風が進路を変えて沖縄に接近していることをニュースで知った。自分は帰宅翌日から仕事があるため早々に帰らなければならぬ事態となった。早速航空会社に電話したが繋がらず、ツアーを申し込んだ旅行会社に連絡すると、明日の搭乗予定便は欠航であり、航空会社より振替便があるかもしれないが、それよりも早く帰りたい場合



は、直接空港に行くなりして航空券を買うしかないと言われた。すぐに空港に行き、席を確保しようとしたが翌日欠航決定の便が相次ぎ、早めに帰る便は押さええられなかった。翌早朝からも空港で航空会社のスタッフに臨時便や払戻し等について質問したが、旅行会社に聞けと言われ、とにかくさまざまな航空会社をあたるしかなかった。

結果、最寄りの空港着ではない便であったが4名揃って沖縄を離れ、到着空港から家までは列車を乗り継いでようやく帰宅した。それに費やした金額が家族4名で80,000円をこえるものとなり、この負担を旅行会社に要求したところ、後日32,000円だけ返金できると回答されたが到底納得いかない! 予定どおりのフライトには搭乗しておらず、しかも代替便は自分達で探して、旅行会社は何もしてくれなかった。われわれが負担した金額を全額補償すべきではないか?

解決に向けての指針

航空会社が台風等の原因で安全な運航が不可能とする欠航であれば、旅行会社は免責となります。また航空会社から振替便の案内がなされるかは、その時々での航空会社による対応次第でしょう。今回申し出の方は、ご自身の都合で早めに便を確保する必要があり、さまざまな情報収集をされました。その時点で旅行会社からはある一定のアドバースがなされていたようですし、また、国内の募集型企画旅行では特約によって旅行会社が事前に、航空券等やホテルバウチャーなどの権利書面を交付し、旅程管理を講じない旨を説明していれば、旅程管理について必ずしも要さないとされ

ており、今件にも該当するものと考えられます(旅行業法施行規則第32条)。結果、最寄りの空港行きではないものの、沖縄を出る便を手配されたのは、あくまでお客様の管理範囲ですので、この支払いに関してまで、旅行会社が負担するには及ばないと考えられます。

旅行会社からの返金額については、旅行会社が航空会社に交渉した結果戻ってくる代金そのままということと、台風を原因とする運送機関のサービス提供の中止による、契約内容の変更に伴い発生した旅行代金の増額(4名で80,000円の出費に対し、32,000円の返金から差し引き48,000円の増額)として約款の規定どおりの対応かと思われます。

●提案

この類の相談は夏から初秋にかけて毎年のごとであり、どうしても避けては通れないことと思います。各社で免責事項として条件書等に記載されていても、一方的な自己主張をされて何とか補償を得ようとする方がいらつしやるかもしれません。

但し、なかには苦情を申し出ても、免責ということとどこに書かれているかわからず、旅行会社に尋ねても明確な回答が得られないので協会に連絡した、という相談が見られますので、この機会に取引条件説明書面(条件書等)のどこにあたるかの確認をしていただきたいと思います(標準旅行業約款の場合、契約内容の変更(第13条)、旅行代金の額の変更(第14条)、当社の責任(第27条)、旅程保証の免責事項(第29条))。従いまして、お客様の契約に応じた取引条件説明書面の交付が大前提としてなされなければならぬことはいうまでもありません。



第12回 それは他の法律で規制

されているかも……

法務・コンプライアンス室

(監修 弁護士 三浦雅生)

「小学生を対象とした野外体験と自家用車での送迎を組み合わせた」プログラムを作って参加者を募集したいのですが、旅行業の登録を取らなければなりませんか、「農家民泊と農業体験とを組み合わせる参加者を募集したいのですが……」というような質問を受けます。今回は、この質問をキーワードにして旅行業法とサービス提供業者を規制している法律との関係を考えてみたいと思います。

このような質問に共通して見られるのは、旅行者が旅行を構成するサービスを包括的に旅行者に提供しており、これを旅行業法が規制していると考えていることです(図-1)。しかし、旅行業法が規制をしているのは、運送サービスまたは宿泊サービスを手配したり、それに付随するサービスを手配することであり、実際に運送や宿泊などの個々のサービスを旅行者に提供する行為は旅行業法では規制していません。旅行を構成する個々のサービスの提供については、別の法律で規制されている場合が多いです(図-2)。

冒頭の質問の野外体験プログラムのケースでは、もし貸切りバスを使うのであれば旅行業の登録を受けなければならぬのは言うまでもありませんが、自家用車で運送するのであれば旅客自動車運送事業の許可を受けなければ

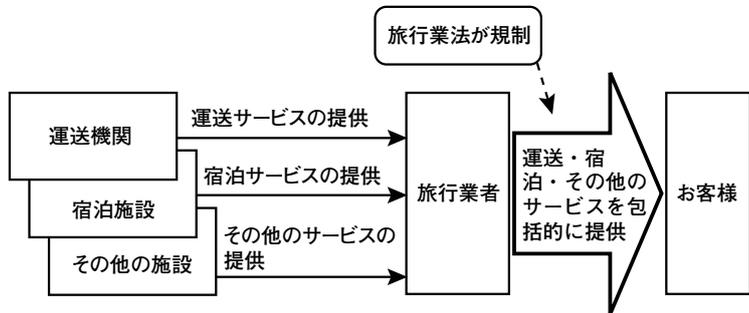
ならない可能性があります。道路運送法では自動車を使って旅客を運送する事業は旅客自動車運送事業の許可を受けなければならないとされています。また「農業体験民泊」を事業として実施する農家は旅館業法に基づく許可を受けなければならないかどうかを確認することが必要です。

最近では、ラフティング業者が送迎サービスを組み合わせるなど、特徴的なサービスを提供する事業者がそれに付随するサービスを組み合わせるプログラムとして販売するケースが見受けられます。旅行者がこれを購入して募集型企画旅行として企画・実施する場合に「旅行業法上問題がないか」との質問を受けることがあります

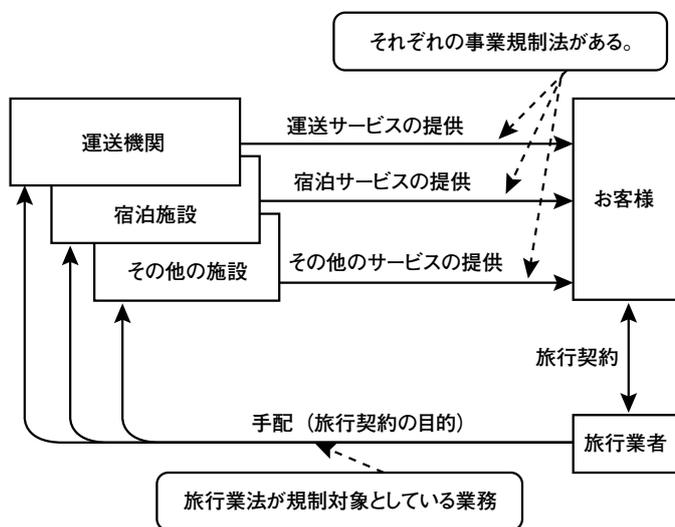
が、このような場合は、そのプログラムを構成するサービスを分解して、それらの一つ一つに事業規制がかかっているのか、そしてプログラムの運営事業者

旅行業法と個々の事業規制法との関係 (模式図)

陥りがちな誤解 (図-1)



実際の旅行業法・旅行業約款上の構成 (図-2)



が法律で要求されている許可の取得や届出などをきちんと済ませているのかをチェックする必要があります。旅行業法では違法なサービスの提供を手配することなどを禁止しているからです。

私たち旅行者はそれら全ての規制についての知識を持ち合わせてはいないので、実務面ではプログラムの実施者に対して必要な事業規制法をクリアしていることを確認するのが現実的でしょう。私たちに必要なのは「もしかすると、これには法的な規制がかかっているかも知れない」と感じる感性とそれを確かめる小まめさです。

(平石)



⑦ 次のうち、ジャングルの木々に架けられた吊り橋を渡るアクティビティはどれ。

- a ナイト・ウォーク
- b ビンダン・ウォーク
- c ジョンカー・ウォーク
- d キャンピニー・ウォーク

「日・ASEANの観光交流を深める会」開催 気運醸成へ双方の関係者ら約500人が参加

「日・ASEANの観光交流を深める会」が8月5日、東京プリンスホテルに関係者ら約500人を集めて開催されました。

JATAと日本観光振興協会、全国旅行業協会、日本旅館協会、日本ホテル協会、日本百貨店協会で構成される「日・ASEANの観光交流を深める会実行委員会」（委員長 山口範雄・日本観光振興協会会長）が主催した同会には、ASEAN各国大使館や政府観光局の関係者をはじめ、国土交通省や外務省、法務省、内閣官房などの関係者や国会議員などが参加し、日本とASEAN諸国との相互交流のさらなる拡大に向けた取り組み強化や気運醸成の必要性を確認しました。

実行委員長を務めた日観振の山口会長は、日本からASEANを訪れる旅行者が年間330万人に達する一方で、ASEANからの訪日旅行者がその2割にも満たないことを指摘し、「日本とASEANの友好協力40周年を迎える今年を契機に、双方の関係者が結束して観光交流の拡大を図ろう」と呼びかけました。来賓として出席した太田昭宏国土交通大臣は、7月からASEANの5カ国

を対象に訪日ビザの要件を緩和したことを踏まえ、「訪日旅行者の増加に向けて、ビザ緩和を起爆剤にしたい」と意欲を示しています。

実行委員会副委員長を務めたJATAの菊間会長は、会議後に開催された懇親会の冒頭で挨拶し、日本とASEANの双方方向における観光交流が大きく伸びていくことを指摘すると同時に、今年4月からJATAがスタートさせたツアーオペレーター品質認証制度の取り組みを紹介して、「JATAとしても、インバウンド事業の強化を図りたい」と語りました。

また、懇親会に駆けつけた菅義偉・内閣官房長官は、ASEAN5カ国を対象とする7月のビザ要件緩和に続き、今年12月に開催が予定されている日・ASEAN特別首脳会議までに、今回の5カ国以外のASEAN各国についてもビザ緩和を実施する方向で取り組む方針を明らかにしています。

富士山でツアー登山研修を実施 安全を基本とした旅行商品造成目指す

JATAは8月1日と2日の1泊2日の日程で、「平成25年度JATAツアー登山 富士山実地研修」を実施しま

した。

今回の研修では、6月の世界文化遺産登録を受けて、ますます人気が増えることが予想される「富士山」を、実際に登山することを通じて、落雷や高山病などの危険性を持つ山である事実を再認識し、安全を基本とした旅行商品の造成に努める一助とすることを目的としました。

今回の研修などを通じ、富士山のツアー登山実施に当たって、次のようなポイントが確認されています。

(1)富士山登山には、**服装・装備の案内の再徹底が必要**

日本最高峰の富士山登山には落雷、高山病をはじめ注意すべきことが少なくありません。旅行会社の立場から、富士山を安全に登山するための服装・装備をはじめ、諸注意事項の喚起を徹底する必要性を痛感しました。

(2)引率者（ガイド）との登山で初心者も**安全な登山が可能**

特に、一般のお客様には、安心・安全に富士山に登山いただくためにも、旅行会社のガイド付きツアーの有用性をもつとアピールしていくことが必要です。

(3)旅行会社として**安心・安全を担保したツアー登山の実施を**

今回の研修でも、途中で弾丸登山の注意喚起の看板が掲げられていましたが、旅行会社としては、改めて、安心・安全を担保したツアー登山の実施を心がけな

ければなりません。

(4)高山病予防のため五合目登山口で**十分な高度順応を**

高山病にかからないようにするために、五合目登山口で十分に高度順応することが必要で、水分補給をしながらゆっくり登ることが肝要です。

(5)一般のお客様に**しっかりと理解していただくことが大切**

山小屋は詰め込み状態のゴロ寝となります。とても快適とは言えないので、一般のお客様にはしっかりと理解をしていただくことが大切です。

LET'S TRY!

DS秋講座・受講生募集開始!!

DS講座とは22講座で33地域の歴史、地理、文化等についてWebドリルを通じて反復学習しながら、さまざまな知識を身に付けられる講座です。締め切りは、9月20日（金）です。

また、今回、アメリカ講座、ハワイ講座、グアム・マリアナ講座を受講し、現地への渡航経験が無い方の中から抽選で5名の方に、ブランドUSAのご協力により現地への研修旅行を実施予定しています。

またオーストラリア政府観光局では認定者にお得にオーストラリアをご旅行していただけるサービスを紹介、現地ホテルなど割引や無料サービスなど特典盛りだくさんです。詳細は、トラベルカウンセラー制度推進協議会のホームページなどで後日発表します。

また、これらの地域への渡航経験が無い皆さんもぜひ、この機会にDS講座を受講して認定を目指してください。

<http://www.traco.jp/>

北海道支部

- 7月23日 海外旅行委員会を開催。海外教育旅行の支援事業や10月5日・6日に開催する海外旅行フェア2013について協議。

- 8月5日 第2回幹事会を開催。政策検討特別委員会中間答申の報告、訪日旅行の貸し切りバス問題について協議。また、支部各委員会の委員長、副委員長、委員を承認。

東北支部

- 7月18日 第3回幹事会を開催。政策検討特別委員会中間答申の報告、環境保全活動の実施報告など。「東北支部第1回定例会」では、「視覚障害者補助犬受入セミナー」として、公益財団法人日本盲導犬協会スマイルワゴン仙台の金井政紀センター長が講演。

関東支部

- 7月18日 第2回総務委員会を開催。旅博2013 関東支部セミナーのプログラム確認、LADY JATA委員会との合同委員会について協議。個人情報保護の勉強会を実施。

- 7月23日 第3回国内旅行委員会を開催。東日本旅客鉄道株式会社・大瀬氏が、「JR 東日本のドステイネーションキャンペーンをはじめとした観光

開発の取り組み」について説明。また、ホテル清風苑の横野常務取締役が「いがた朝ごはんプロジェクト」について説明し、意見交換を実施。

- 7月26日 第3回海外旅行委員会を開催。課題研究として、LATA航空グループが同航空グループの概要と南米観光について説明。また、販売動向、夏の販売取り組み、トピックス等について報告と意見交換を実施。

中部支部

- 8月8日 国内・地域振興委員会開催。

関西支部

- 7月25日 国内旅行委員会開催。
- 7月30日 第2回幹事会開催。政策検討特別委員会中間答申の報告、関西旅博2013の実施報告など。

中四国支部

- 8月19日 岡山地区委員会主催により「岡山空港利用促進セミナー&意見交換会」を実施。

九州支部

- 7月2日 消費者相談委員会を開催。
- 7月5日 総務委員会を開催。平成26年賀詞交換会の運営について協議。
- 7月10日 実務委員会を開催。政策検討特別委員会中間答申の報告を行

い、九州支部管内において実施するJATA社会貢献活動について協議。

- 7月12日 佐賀県地区委員会を開催。
- 7月17日 国際旅行委員会を開催。
- 7月25日 国内旅行委員会を開催。九州支部主催・九州内宿泊キャンペーンの実施内容について最終確認。
- 7月26日 福岡地区委員会を開催。海外研修旅行などについて協議。
- 7月26日 長崎県地区委員会を開催。
- 7月30日 海外旅行委員会を開催。アジア太平洋フェスティバルの最終決定事項の確認。

沖縄支部

- 7月24日 第4回幹事会を開催。政策検討特別委員会中間答申の報告。
- 8月7日 JATAの理事及び支部長である沖繩ツーリスト代表取締役社長の東良和氏が、那覇市観光振興に対する功績を認められ、那覇市観光功労者に決定。表彰式が那覇市ぶなかテンブス館4階テンブスホールで行われました。



東良和氏（写真上の禮の中央）

50代からの旅と暮らし発見マガジン

nodule **ノジュール**

「ノジュール」は50代からの人生を豊かにする定期購読雑誌です。季節ごとの旅先やモデルコース、健康、暮らし、趣味などの情報がみつかります。

9月号の特集は!!(8月末発行)

「戦国の城と城下町」

年間購読でお申し込みいただき、毎月ご自宅にお届けします。書店ではご購入できません。

- 年間購読料 7,740円(税、送料込)(1年間12冊)
- A4判、128ページ



● お申し込み・お問合せは

☎ 0120-26-4747(通話料無料/9:00から18:00) もしくは <http://www.nodule.jp>まで

株式会社 **JTBパブリッシング**
〒162-8446 東京都新宿区払方町25-5



⑨ マレー鉄道についての説明で、誤っているものはどっち？

- a KL近郊路線と、マレー半島を縦断する長距離路線とがある。
- b 座席クラスは、1等(プレミア)と2等(スーパー)の2種類。



高齢者が安心して海外旅行をするために

時間と金銭的余裕のある高齢者層の海外旅行が盛んです。しかし、気持ちは若くても体はそうはいきません。海外旅行中に高齢者が罹りやすい病気やけが、それらの予防策や注意点について日比谷クリニックの奥田丈一院長に伺いました。

○基礎疾患の悪化

高齢者のほとんどが何らかの疾患をもち、投薬治療を受けています。病気がしばらく落ち着いていても、環境の変化や旅行に伴う身体的ストレスなどから旅行中に突然問題をおこす可能性があります。

【対策】

旅行先で不足しないように、投薬中の薬を十分用意することや旅行者保険に入ることはもちろん、出発前に主治医と、旅行先や活動内容について相談し、緊急時に備えて英文の病名や服薬内容などが書かれた診断書を用意しましょう。

○旅行者血栓症になりやすい

旅行者血栓症(いわゆるエコノミークラス症候群)のリスクが高いため、長時間の飛行の際は特に注意が必要です。

【対策】

長時間の飛行が避けられない場合は、飛行中、頻繁に足を動かして水分をしっかりと取ることが大切です。飛行機を降りた後に胸の痛みや息切れが出た際は注意が必要です。

○脱水症に注意

若年者と比べて水分調節の余裕が少なく、脱水になりやすい特徴があります。さらに旅行中は歩く時間が長い、下痢をしやすい、気温が高いなどで、危険性が増します。トイレが近い人は、ツアー同行者への遠慮から水分を控えてしまうケースも考えられます。食事が口に合わず、本来食事から摂れる水分量が減少する可能性もあります。また高血圧で利尿剤を服用している人も多いです。

【対策】

高齢者は症状が出にくいいため、気が付いたときには重症になっているケースもあります。脱水になりやすい活動を避け、早めの水分補給が重要です。

○高山病になりやすい

高齢者が好む旅行先にはテベットや南米など、高山病のリスクが高い地域が多く見られます。高山病の重症型である肺水腫を起こしやすく注意が必要です。同行者への遠慮から、初期症状の頭痛や吐き気を我慢し重症になってから気づくといったケースも見られます。

【対策】

高度2000m以上の地域に滞在する場合、妙に息切れが強い時は高山病の可能性を考えて速やかに医療機関を受診させる必要があります。基本的に日数をかけて登る計画を立てることが大切です。

○転倒、骨折しやすい

一般的に旅行の疲れから転倒し易く、ちよつとつまずいただけでも骨折してしまうこともあります。また、高齢者は骨折に伴って脂肪血栓症を起す危険性があります。

【対策】

転倒、骨折を避けるためには旅行者の歩行能力を考慮した旅程を組み、歩きやすい靴を選ぶことが大切です。血栓症を避けるため、骨折が疑われる場合はむやみに動かさず、救急を呼びましょう。

◎勧められる旅先について

高齢者に適した海外旅行先は、インドアの活動が多く、移動のための交通機関が発達した所、またホテルや観光する施設のバリアフリー度が高い地域。および信頼できる医療機関へのアプローチが良いところであり、自ずと欧米諸国を中心とした先進国になるでしょう。

しかしリスクが高い地域でも、危険性と予防法を具体的に提示することで、自身や送り出す家族に安心してもらうことができます。

◎添乗員に必要な心構え

高齢者に起こりうる病気についての知識を蓄積することが必要です。病気のサインを見逃さず、起きてしまった際には的確で迅速な対応ができる知識と能力を持つことは、安全につながります。

可能であれば将来的に、高齢者旅行に適したスペシャリストの養成やインシデント時対応の徹底したマニュアル化が望まれます。



東京海上日動

安心をいつも あなたのそばに

海外旅行保険

国内旅行総合保険

東京海上日動火災保険株式会社 旅行業営業部 TEL:03-5299-3525
 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル12階 〒100-0004 <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>



東京海日ニョー



⑩ マレーシアの四大料理は、マレー、中国、インド、海鮮料理である。これ正しい？

Highlights of JATA Tabihaku Travel Showcase



The JATA Tabihaku Travel Showcase is held to stimulate the travel market overall, not only outbound trips but also inbound and domestic trips. Compared to last year, this year the plan is to increase extensively the number of booths of Japanese companies, and it is expected to be the largest showcase in the event's 24-year history. Please come and experience the power of Japanese tourism at the JATA Tabihaku Travel Showcase.

—Domestic Travel— Introducing Several Featured Exhibitors

A-01

Hato Bus Co., Ltd.

Full Array of Courses Planned by Tokyo Professionals

We offer a full array of courses planned by Tokyo professionals, from Asakusa and Tokyo Tower to the much-talked-about Tokyo Skytree, gourmet courses, nighttime lights, and popular spots.

Why not create memorable experiences with Hato Bus?

A-09

Tokyo Skytree®

Tokyo Skytree® 1st Anniversary

The Tokyo Skytree, which opened on May 22, 2012, is the world's tallest tower, at 634 meters. A huge panorama unfolds before one's eyes when standing on the Observation Deck at a height of 350 meters. There is also a restaurant where you can enjoy the beautiful view overlooking Tokyo, a café where you can drop in for refreshments, and an official shop. In the Observations Corridor at the height of 450 meters, you can savor a magnificent view across the Kanto region. Please come and visit Tokyo Skytree, a new fixture lighting up the sky of Tokyo.

A-15

Hida-Takayama (Takayama City)

Hida-Takayama: Home of the Heart

Takayama City, the city with the largest land area in Japan of 2,177 square kilometers, is close to Tokyo in size. History and traditional culture are still alive here in the old streets where scenes from the Edo Period still exist and in the dazzling parade floats at the Takayama Festival. Moreover, on the outskirts of the city area lie majestic natural areas graced by the northern Japan Alps (Hida Mountains) and outdoor hot springs full of rustic beauty with one of the greatest outputs of hot water in Japan at places like Oku-Hida Spa, a gem of a resort. This area can be enjoyed year-round.

A-37

KANAGAWA PREFECTURE

Rediscover the Charms of Kanagawa!

In Kanagawa Prefecture, of course there are the cities of Yokohama, Kamakura, and Hakone which attract international tourists as well as areas to enjoy greenery and nature such as Mt. Oyama and Jogashima Island. However, there are also relatively unknown places, such as the town of Oiso where the top health resort in Japan is being rebuilt. Areas with latent potential are also aiming to become new tourist towns. Moreover, from the Hakone area, you can enjoy a view of Mt. Fuji, a World Cultural Heritage Site. Please rediscover the overflowing charms of Kanagawa Prefecture.

A-41

Okinawa Convention & Visitors Bureau

Come Upon the Scent of the Best. Come in Touch with the Freshest Air.

Okinawa×Island Tour Okinawa: Fresh Scents and Breezes Year-Round

Summertime, with its image of “blue ocean, blue sky,” is not Okinawa's only high season. In the autumn, Okinawa is also full of attractions!

At our booth, you will be able to more fully experience the charms of Okinawa, including the Islands Tourism Corner featuring the popular Miyakojima Island, Kumejima Island, and Yaeyama Islands. The booth will be presented in association with the popular tourism spot Okinawa Churaumi Aquarium.

A-42

Fukushima Prefecture

Huge Assortment of Deliciousness and Fun from Fukushima!

Fukushima is the home of Yae Nijima, the heroine in Yae no Sakura, a popular NHK TV drama. In our booth this year, together with selected foods, we feature a tasting of the delicious local sake which won a Gold Prize as one of the best sakes in Japan at the Annual Japan Sake Awards. There are also popular, cute folk handicrafts, and visitors will have the opportunity to hand paint tumbler dolls themselves. The Fukushima Yae-tai, which was formed following the popularity of the TV drama, will appear on stage to present a fabulous show. Please stop by the Fukushima booth, Fukushima's first booth at the JATA Tabihaku Travel Showcase!

—The Noteworthy “JATA Tohoku Recovery Support Zone” in the “Tabihaku Market”—

This year we will set up the “JATA Tohoku Recovery Support Zone” in the “Tabihaku Market” as a project to support the Tohoku region, in continuation from JATA's other recovery activities since the disaster.

In addition to the Tohoku Gift Shop Corner which will bring together famous local products and special products from northeastern Japan and offer them for sale, the JATA Support for the Reconstruction of Tohoku Charity Auction will be held again this year as a project of the JATA Social Contribution Committee. Currently, we are requesting companies and bodies in the travel industry, including exhibitors, to donate products for the auction.

Team Europe News

In the Europe Zone of JATA Tabihaku Travel Showcase, Europe Square is open!! There will be exhibit panels that introduce cosponsors of Team Europe, including government tourism agencies, airline companies, tour operators, railways, hotels, outlet shopping, and general insurers (a total of 37 organizations and companies). In addition, on Industry Day on September 13 (Friday), a seminar for industry-related persons will be held by around 20 tourism agencies focusing on destinations and materials, and at 7 pm in Europe Square, presentations will be given.

Please register in advance for Team Europe’s seminar for industry-related persons on September 13 (Friday).



Tabihaku Night 2013 (Sponsors’ Reception)

Held at Zojoji Temple, where the old and the new meet

Tabihaku Night 2013 is a reception for the event sponsors which will be held on September 12 (Thursday) at Zojoji Temple (Shiba-koen, Minato-ku, Tokyo). The venue truly symbolizes modern Japan, with a skyline as a backdrop that brings to mind the new ultramodern capital city of Tokyo as well as ancient Edo culture.

The concept of the event is to develop the theme of “Tabihaku Alley” reminiscent of the charming alleyways of old Edo while praying for the success of the event and for world peace to the main image of Amida Buddha at the temple. We will recreate “alley culture” handed down since the Edo Period at Zojoji, an Edo Period temple that truly is exceedingly opulent. The event is scheduled to feature a combination of contents, including promotion of inbound Japan trips, introduction of unique venues for MICE, and suggestions for theme parties.

By providing the opportunity to experience the traditions and culture of Japan in an entertaining way together with a Japanese-style dinner, “Destination Japan” will make a favorable impression on the participants from Japan and from other countries, which will include invited representatives of each country and exhibitor.



© Zojo-ji Temple

1,003,000 Foreigners Visit Japan in July, up 18.4%

—Reach the 1 Million Mark for The First Time—

The number of foreigners who visited Japan in July this year reached 1,003,000, up 18.4% year-on-year.

The number of inbound foreigners decreased by 1.9% year-on-year in January this year but maintained a two-digit increase for six months, with an increase of 33.5% year-on-year in February, 26.7% in March, 18.4% in April, 31.2% in May, and 31.9% in June.

The number in July this year exceeded the July 2012 figure of 847,000 by 156,000, marking a record high and this is the first time the number of foreigners who visited Japan in July was over 1 million.

By country/region, the number of inbound foreigners from the following countries/regions set new records: Taiwan, Hong Kong, Thailand, Malaysia, Vietnam and India.

A total of 5.958 million foreigners visited Japan in the first seven month of this year, setting a new record and exceeding the 2012 figure of 4.882 million by 1,076,000.

In JNTO’s assessment, significant growth occurred in July for the ASEAN countries where the visa requirement were eased to visit Japan. Especially, the number of visitors to Japan from Thailand and Malaysia expanded significantly with an increase of 84.7% and 25.2%.

Countries-Areas set new records for Jul.			
Country/Area	2012 Jul.	2013 Jul.	Change (%)
Taiwan	160,344	238,500	48.7
Hong Kong	51,482	85,300	65.7
Thailand	16,347	30,200	84.7
Malaysia	7,905	9,900	25.2
Vietnam	4,580	7,300	59.4
India	5,643	6,200	9.9

Visitor Arrivals (Unit: Persons)			
Month	2012	2013	Change (%)
1 Jan.	681,786	668,610	-1.9
2 Feb.	546,451	729,460	33.5
3 Mar.	676,662	857,024	26.7
4 Apr.	779,481	923,017	18.4
5 May.	667,046	875,408	31.2
6 Jun.	682,932	901,100	31.9
7 Jul.	847,194	1,003,100	18.4
8 Aug.	774,239		
9 Sep.	658,239		
10 Oct.	705,848		
11 Nov.	648,548		
12 Dec.	689,679		
1~7 Jan.-Jul.	4,881,552	5,957,700	22.0
1~12 Jan.-Dec.	8,358,105		

Japan National Tourism Organization (JNTO)

Intense Discussion at the International Tourism Forum

Points to Note on September 13 (Friday)

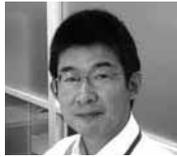
■A Must-Listen for Industry-related Persons! —Keynote Panel Discussion—

Globally-recognized specialists in the tourism and travel industry will speak. Using the latest market data from Japan and Asia, they will analyze each country’s characteristics and SWOT and hold an intense discussion on the future expansion and sound growth of the Asian travel market.

◆“Analysis of the Asian Travel Market”

September 13 (Friday) 13:00 – 17:00, East Exhibition Hall 6, Forum Stage

—Master of Ceremonies and Moderator:
Hiroshi Kurosu, Senior Researcher, Japan Travel Bureau Foundation



Hiroshi Kurosu

◆Keynote Panel Discussion “The Rapidly Growing Asian Travel Market and Japan’s Travel Industry” (with simultaneous translation in Japanese and English)



Dr. Taleb Rifai

David Scowsill

Yoshiaki Honpo



Hiromi Tagawa

Panel Guest: Dr. Taleb Rifai, Secretary-General of UNWTO

Panel Guest: David Scowsill, CEO, World Travel and Tourism Council (WTTC)

Moderator: Yoshiaki Honpo, Professor, Urban Environmental Sciences, Tokyo Metropolitan University; First Commissioner of Japan Tourism Agency

Sponsor Representative: Hiromi Tagawa, Vice Chairman of JATA; President and CEO of JTB

Focusing on the Travel Markets in Japan, South Korea, and Taiwan



John Koldowski

Moo-Seung Yang

Jason Wang

◆Panel Discussion “From Growth to Maturity: Questioning the True Value of the Japanese Outbound Travel Market ~ Creating the Path to Tomorrow with a Thorough Comparison of the Three Markets of Japan, South Korea, Taiwan”

Industry experts active in South Korea and Taiwan are invited to the panel discussion. On the theme of “From Growth to Maturity: Questioning the True Value of the

Japanese Outbound Travel Market ~ Creating the Path to Tomorrow with a Thorough Comparison of the Three Markets of Japan, South Korea, Taiwan,” the panel will highlight the features and strengths of the Japanese market and the industry through a comparison of the outbound travel markets of South Korea and Taiwan and a comparison of those markets with Japan.

Panelist: John Koldowski, CEO, Pacific Asia Travel Association

Panelist: Moo-Seung Yang, Chairman, Korea Association of Travel Agents (KATA)

Panelist: Jason Wang, Chairman, Taiwan Lion Group

Various Symposiums to Be Held on September 14 (Saturday)

A special symposium will be held to discuss the Quality Assurance System for Tour Operators established by JATA. A total of five symposiums will be held to examine the problems and issues in the industry.

■East Exhibition Hall 6, Special Seminar Rooms, Various Symposiums 12:00 – 17:30

●MICE Marketing

12:00 – 13:30 Special Seminar Room 2

Moderator: Yoshiro Ishihara, Editor of Chief, Wing Aviation Press Co., Ltd.

●The Media and Tourism Promotion

14:00 – 15:30 Special Seminar Room 1

Moderator: Naohiro Fukawa, Director, Marketing Planning Division, Mile Post Consultants, Inc.

●How to Ensure the Safety and Security of Tours Sponsored by Travel Agencies

14:00 – 15:30 Special Seminar Room 2

Moderator: Takashi Kanno, General Manager, Overseas Department, Kinki Nippon Tourists Co., Ltd.

●Recovery from the Drop in Tourists Due to Disaster and Terrorism

16:00 – 17:30 Special Seminar Room 1

Moderator: Masato Takamatsu, Managing Director & Chief Research Officer, Japan Tourism Marketing Company

●Considering Promotion of Area-wide Destinations

16:00 – 17:30 Special Seminar Room 2

Moderator: Shigeyoshi Noto, Managing Director, Finnish Tourist Board



Yoshiro Ishihara



Naohiro Fukawa



Takashi Kanno



Masato Takamatsu



Shigeyoshi Noto

事務局 便り

「JATA旅博2013」がいよいよ9月12日(木)に開幕します。増上寺での主催者レセプションを皮切りに15日(日)まで、展示会、国際観光フォーラム、国際商談会、顕彰事業など多彩な事業を展開、開催規模は過去最大となる見込みです。今年の旅博のみどころを特集しましたので、業界日はもちろんのこと、土日の展示会にもご家族揃ってお楽しみください。

る見込みです。今年の旅博のみどころを特集しましたので、業界日はもちろんのこと、土日の展示会にもご家族揃ってお楽しみください。

●JATA業務予定表 9月1日(日)～10月31日(木)

※予定表は変わることがあります。詳しくはJATAホームページ(会員限定ページ)をご覧ください。

本部・支部の委員会(予定)

9月2日	教育研修委員会／九州支部
9月2日	茨城県地区委員会／関東支部
9月3日	旅行業法等検討特別委員会／本部
9月3日	実務委員会／九州支部
9月4日	海外旅行推進委員会／本部
9月4日	消費者相談委員会／九州支部
9月5日	社会貢献委員会／本部
9月5日	国際旅行委員会・海外旅行委員会／九州支部
9月10日	総務委員会／関東支部
9月12日	日露観光交流促進協議会／本部
9月12日	消費者相談委員会／関西支部
9月13日	理事会・常任役員会／本部
9月13日	幹事会／関東支部
9月13日	幹事会／中四国支部
9月13日	LADY JATA委員会／関東支部
9月13日	神奈川県地区委員会／関東支部
9月17日	北陸信越運輸局とJATA関東支部幹事会、新潟県地区委員会との意見交換／関東支部
9月19日	国内旅行委員会／九州支部
9月20日	法制委員会／本部
9月26日～27日	国内旅行推進委員会(和倉)／本部
9月26日	関東運輸局とJATA関東支部幹事会との意見交換／関東支部
10月1日	研修・試験委員会／本部
10月1日	インバウンド委員会／関東支部
10月10日	海外旅行委員会／関東支部
10月16日	総務委員会／九州支部
10月22日～23日	国内旅行委員会(北陸)／関東支部
10月23日	VW推進特別委員会／本部
10月31日	理事会・常任役員会／本部
10月31日	国内旅行委員会・海外旅行委員会／九州支部

●JATA主催・共催の研修・セミナー等活動

※JATA正・協力会員を対象とした研修・セミナーであり、すでに申し込み受付を締め切った研修・セミナーもあります。詳しくは、JATAホームページ(会員限定ページ)をご確認ください。

8月31日～9月1日	福井県若狭町でのグリーンツーリズム実地踏査/国内旅行推進委員会
9月2日	にし阿波・剣山セミナー／国内旅行推進委員会
9月2日～6日	ベトナム中部リゾート・カウンター研修旅行／海外旅行推進委員会
9月3日	訪日外国人受入促進地域フォーラム(東北)／訪日旅行推進委員会
9月3日	第5回LCCセミナー「日本のLCC」／旅行業経営委員会
9月4日	訪日外国人旅行者の安全確保対策セミナー／訪日旅行推進委員会
9月5日～6日	伊勢・熊野実地研修／国内旅行推進委員会
9月6日	香港展示会・見本市セミナー(福岡)／海外旅行推進委員会
9月7日	環境保全活動(関西地区)／社会貢献委員会
9月9日	那覇ま〜いセミナー／国内旅行推進委員会
9月10日	救急法講習／関西支部
9月12日～15日	JATA旅博2013／JATA旅博推進会議
9月13日	関東支部セミナー／関東支部
9月17日	ブータンセミナー(東京)／海外旅行推進委員会
9月18日	チュニジア研修団セミナー(JICA)／海外旅行推進委員会
9月18日	ブータンセミナー(名古屋)／海外旅行推進委員会
9月18日	第6回LCCセミナー「これからの航空会社のマーケティングについて」／旅行業経営委員会
9月19日	ブータンセミナー(大阪)／海外旅行推進委員会
9月24日～27日	総合・国内旅程管理研修(東京・松山)／研修・試験委員会
9月25日～29日	タイ自由視察研修旅行／海外旅行推進委員会
9月28日	寺子屋JATA／九州支部
10月2日	第7回LCCセミナー「IT企業と旅行業」／旅行業経営委員会
10月5日	環境保全活動(関東地区)／社会貢献委員会
10月11日	アジア太平洋観光BtoB商談会&JATAナイト／九州支部
10月13日	総合旅行業務取扱管理者試験
10月20日	環境保全活動(中四国地区)／社会貢献委員会
10月22日	長崎地区委員会苦情対応セミナー／九州支部



Taiwan
THE HEART OF ASIA

Time for Taiwan

思い立ったが台湾吉日



台湾観光局
http://jp.taiwan.net.tw/

台湾観光協会

●東京事務所 〒106-0003 東京都港区西新橋1-5-8 川手ビル3階
TEL(03)3501-3591 FAX(03)3501-3596
●大阪事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満4-14-3 住友生命御堂筋ビル6階
TEL(06)6316-7491 FAX(06)6316-7398



解答: ①正しい。 ②キャメロン・ハイランド ③誤
④d ⑤a プラナカン ⑥誤 ⑦d キャンピー・ウォーク
⑧正しい ⑨b ⑩誤

石垣島（沖縄県）

素材研究
(国内)



まちなか散歩ツアーでは、神が存在する聖地であり、地域の祭祀で中心的な役割を果たす御嶽(オン)も訪れます



まちなか散歩を島の新たな魅力に
リゾートだけでない文化や歴史を体感



石垣市公設市場。南国らしい野菜や果物をおばあさんの露店が並び、肉屋や魚屋、土産物屋、食堂などもあります



北緯24度20分に位置する石垣島は、全天88星座のうち84の星座と21個の1等星をすべて見ることができる「星に一番近い島」です



国指定重要文化財の宮良殿内(みやらどうんち)。19世紀初めに首里の貴族屋敷を模して建築されたといわれています

ドライブの途中で車を止めて集落を散歩すれば、新たな感動との出会いも。吉原集落の西にある展望台からは、三つ星評価の川平湾を見渡せます

2010年からは石垣市のコミュニティ交流拠点である「まちなか交流館ゆんたく家」を発着点として、歴史的なポイントや観光スポットを巡り、旅行者に深く石垣島を理解してもらおう、「まちなか散歩ツアー」も実施されるようになりました。

ツアーを主催するタウンマネージメント石垣の西村亮二氏は、「商店街周辺を歩い

今年3月に新石垣空港が開港し、「ザンアイランドリゾート」として注目度がさらに高まっている石垣島。近年は、島独自の自然や文化、歴史などへの理解をより深められる散歩ツアーも人気を集めています。

島人とのふれあいが
リピーターをつくる

石垣島は、日本の最西端となる与那国島や有人島としては最南端の波照間島などを含む八重山諸島に位置しています。八重山諸島は、『ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン』で川平湾が最高の三つ星、石垣島が二つ星に格付けされたのに続き、世界最大の旅行ガイドブック専門出版のロンリープラネット社が発行した『ベスト・イン・トラベル2011』でも、「知られざる島々ベスト3」部門の第3位に選出されるなど、世界的にも高く評価されています。

また、石垣市観光交流協会も2011年に「石垣島お散歩マップ」を作成して、石垣・大川・新川・登野城・美崎町・新栄町・浜崎町・登野城・八重町・大浜・宮良・白保、川平・平久保の6エリアなどをイラスト入りの地図と写真で紹介し、リピーターの町なか歩きツールとして活用。同市観光交流協会の前津秀一郎氏は、「初めて島を訪れる旅行者への観光案内というよりも、リピーター向けに中身の濃い内容とし、石垣島をより深く楽しんでもらえるものにした」と説明。「各地区の青年会なども、それぞれの地域で旅行者への対応を工夫する動きを進めるようになってきている」と今後の展開に期待を示しています。

中身の濃いお散歩マップで
より深く楽しんでもらおう

「まちなか散歩ツアー」には、登野城方面の「とうぬすくコース」と大川・石垣方面の「ふーがー・いしやなぎらコース」の2コース(約2時間)に加え、約1時間のショートコースも用意。中心部に位置して古くから商業の中心となってきた石垣市公設市場や地域の祭祀で中心的な役割を果たす御嶽(おん)、琉球王府の出先機関だった蔵元跡、石垣島の典型的な屋敷などを回ります。

でもらいたい、各店の売り上げアップを図ると同時に、島人とふれ合いを通じて島への愛着が深まればリピーター化にもつながる」とツアーの意義を強調しています。

マキナックアイランド(米国ミシガン州)



島内に建つ避暑用の別荘も、古き良き時代のアメリカを忍ばせませ



そこは自動車のないアメリカの街
18世紀から続く古き良き街並みを馬車で巡る

毎年6月に10日間にわたって開催されるライラック・フェスティバルでは、19世紀の面影を残す中心部での市民マラソンも行われています



マキナックアイランドの図書館には町の歴史を知る蔵書も収められています



自動車の乗り入れが禁止されている島では、馬車が主な交通手段となります



アーチロックと呼ばれる不思議な形の花崗岩は、長い年月をかけた自然の造形です



島のランドマーク的な存在のグランドホテルの庭には、馬車を象った植栽も施されています

クルマ大国の米国にあつて自動車産業をリードしてきたミシガン州に位置しながら、19世紀初頭から自動車よりも馬を優先してきたマキナックアイランド。五大湖の二つ、ヒューロン湖の北端に浮かぶ島での移動は、主に馬車が使われ、18世紀を思わせる街並みとも合わせて、その非日常的な空間は多くの旅行者を惹きつけてやみません。

人口500人の島に100万人の旅行者

果樹園が多く、のどかな田園風景と美しい街並みが特徴の島には、州内の人々をはじめ、隣接するウイスコンシン州やカナダからも多くの旅行者が訪れ、人口わずか5000人という島への旅行者数は年間100万人近くに及んでいます。19世紀後半には、毛皮産業と漁業に代わつて、観光産業が基幹産業として位置づけられるようになりました。

自動車の乗り入れを禁止する島の伝統は1800年代にまで遡ると言われ、移動手段として利用される馬の数は最盛期の夏場には600頭にも達し、島の人口を上回るまでになると言います。島の経済を支える観光を担う中心的な役割を果たしている馬はとて大切にされていて、毎年6月に開催されるライラックフェスティバル

の際には、動物への恩恵式典も実施され、馬だけでなく犬に対しても、人間との特別なパートナーシップへの感謝が捧げられています。

五大湖に浮かぶタイムカプセル

マキナックアイランドの代表的なホテルとして知られているのが、島のランドマーク的な存在となっているグランドホテルです。宿泊者以外の旅行者にも、有料のガイドツアーが用意されているほどで、グランドホテルでのランチビュッフェやアフタヌーンティーなどは、旅行者の憧れとなっています。

また、島の「名物」とも言えるのが、ファッジと呼ばれる柔らかいキャンディーのようなお菓子です。マキナックアイランドのオリジナルではありませんが、フレッシュクリームとバターで作られる18世紀から続く伝統のお菓子は、散歩で疲れた体を癒すにはもってこいで、歩きながらファッジを食っている島の人々も少なくありません。

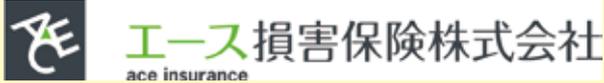
マキナックアイランドを訪れたら、ぜひ、見学してみたいのがアーチロックと呼ばれる不思議な形をした花崗岩です。長い年月をかけた自然の造形は、文字通り、アーチ状になつていて、絵画のような美しい景観が多くの人々を惹きつけています。

18世紀から時の流れが止まってしまったかのように、古き良きアメリカの雰囲気濃厚に漂うマキナックアイランドは、五大湖に浮かぶタイムカプセルのような島です。

今年も、JATA旅博2013に株式会社ジャタは 事業の提携企業様と共同出展します。

東3ホール「ブランドUSAパビリオン」の隣です。ぜひお立ち寄り下さい。

9月13日(金)



★iPhoneアプリ

◎20～30代の女性に向けた『女子旅』を盛り上げるiPhone用アプリを公開します。

★ラウンジキャンペーン

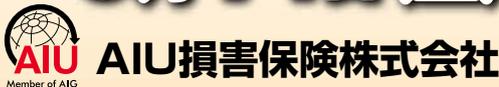
◎海外旅行保険にご加入されたお客様を対象として、成田空港ラウンジを無料でご利用いただけるキャンペーンをご案内します。

9月13日(金)～15日(日)

日本アイラック株式会社 株式会社トラベルヴォイスアンドネット 株式会社ジャタ

- ◎JATA海外緊急重大事故支援システムのご案内
国内オプションも取り扱っています。
— 日本アイラック株式会社(9/13、14のみ)
- ◎安否確認システム付海外レンタル携帯のご案内
- ◎海外用プリペイドカードのご案内
— 株式会社トラベルヴォイスアンドネット(9/13のみ)
- ◎JATA会員向け各種団体保険のご案内
- ◎共同通信「海外リスク情報」携帯速報メールのご案内
- ◎海外安全虎の巻(外務省提供)を配布します。
— 株式会社ジャタ(9/13～15)

9月14日(土)



★旅行会社・留学会社様向け

- ◎旅行保険販売ツールのご案内
- ◎代理店登録についてのご相談

★一般来場者向け

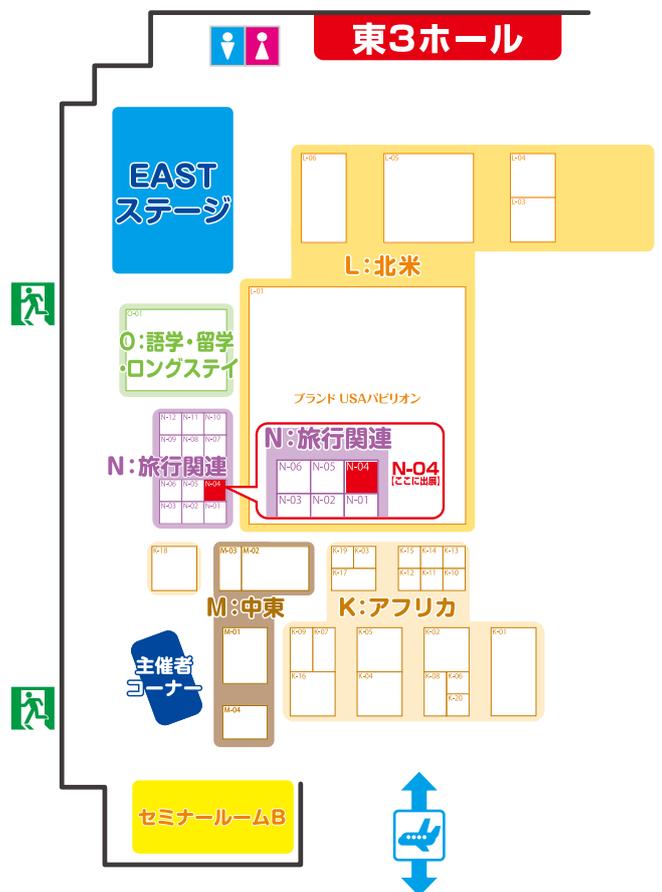
- ◎もしもの時の旅行保険の必要性につきご案内
- ◎トラベルグッズをプレゼント

9月15日(日)



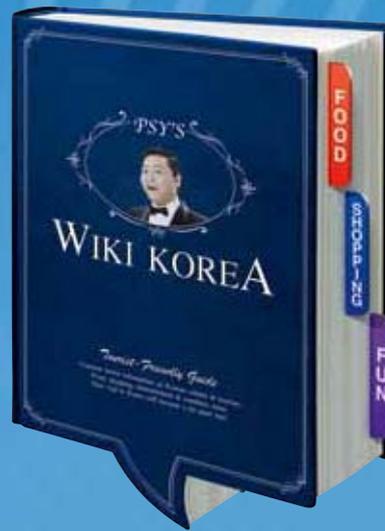
◎来場者の皆様にご協力いただき、旅行者の笑顔と旅の思い出で溢れた一枚の世界地図アートを作り上げます。世界地図アートを通して、世界の旅の魅力と、旅行者の旅笑顔をサポートする弊社の役割を表現します。

◎昨年、子供に女性に大人気だった「東京海ジョー」の着ぐるみが今年も登場し、旅博を盛り上げます。



株式会社ジャタ TEL 03-3504-1751 E-mail mail@yu-jata.com

株式会社ジャタはJATAの会員サポート拡大を目的として旅行業に係わる団体制度を取扱う会社です。



韓国で会いましょう!

PSY'S WIKI KOREA

ウィキコリアで検索!



PSY(サイ)のウィキコリアとは?

PSYのウィキコリアは、韓国の文化・観光・ショッピングに関する役立つ情報をご提供するインターネット辞典です。楽しさいっぱいの魅力あふれる韓国へと、あなたをご案内するウィキコリアを、ぜひ、お試しください。
ibuzzKorea.com

